

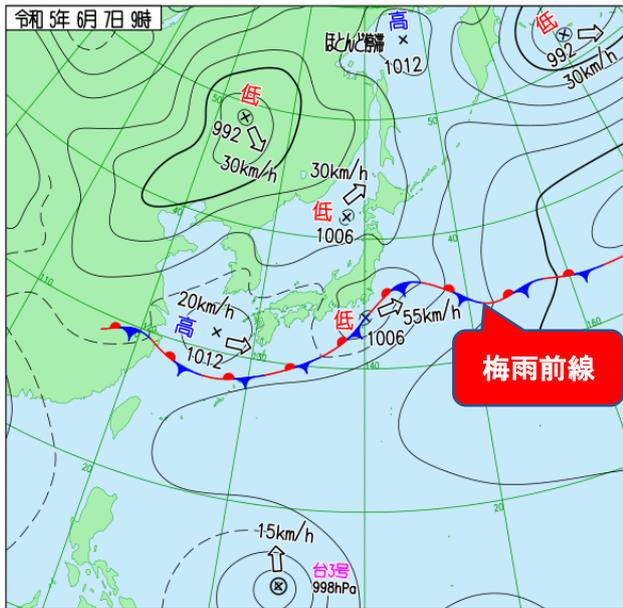
お天気解説

アキラのズバッと

天気予報は梅雨がにか手

令和5年6月9日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡



図：天気図（7日09時）気象庁HPより

6月7日、関東甲信地方の「梅雨入り」平年日です。梅雨になると雨の日が続いてイヤですね。でも、この雨は、田や畑の仕事をやるのか農家にとっては大切なものです。なぜ雨が降るのか天気図を見ると、東西に長々と続く前線がのびています。そう、これが梅雨前線です。この前線付近には雨雲が連なり雨が降るのですが、この前線は、6月から7月にかけて日本付近にほぼ停滞するため毎日のように雨が降るのです。

さて、天気予報で最も苦手なのが、この梅雨の時季です。梅雨前線の微妙な位置の変化

によって雨の降る範囲が変わるからです。気象庁は、同庁が発表している降水の有無の適中率について、統計をとっています。それによると、関東甲信地方の「明日の天気予報」は、的中率が年間の平均で85%であるのに対し、6月は80%、7月は78%と低くなっています。さらに「明後日の天気予報」は年間が81%に対し、6月は74%、7月は73%とさらに低くなります。このように天気予報は梅雨の季節が苦手なので、予想外の雨が降ることがあります・・・。

週末のお天気				2023年06月09日11時 気象庁 発表		
日付	今日 09日(金)	明日 10日(土)	明後日 11日(日)			
東京地方	曇	曇	曇一時雨			
降水確率(%)	-/-/10/10	20/20/20/20	70			
信頼度	-	-	-			
東京 気温 (℃)	最高	26	26	25	(23~29)	
	最低	-	20	19	(18~21)	

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋・加工

(週末から来週にかけてまた雨が多くなりそうです・・・)

さて、先日は台風の接近と梅雨前線の影響で降水量が217mmと統計を取り始めた1890年以來、6月の第3位の記録となりましたが、6月上旬としては突出した新記録となりました。つまり、この時季としては異例の大雨となったのです。

雨が多く降る時季に入りました。側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておくことは、家屋の浸水を防ぐ手立てにもなります。